

野田池 (のだいけ)

位置図



諸元

貯水量	289	千m ³
満水面積	7.6	ha
受益面積	70	ha
堤高	6.3	m
堤長	1,105	m

野田池は、築造についての記録がないため、いつ築造されたのかは定かではありませんが、貞享3年(1686年)の調査とされる「翁^{おう}媪^{おう}夜話^{やわ}」の香川群東編では、伏石の蓮池とともに野田池も載っており、当時すでに存在していたことがわかります。

野田池は、築造から300年以上が経過しており、現在の大きさになったのは寛政年間とされています。年々の土砂の流れ込みによる貯水量の減少や相次ぐ干ばつに悩まされていましたが、野田池の水掛かりであった松縄村が嵩上げを計画した際に、下流で同じく干ばつ被害に悩まされていた今里村と福岡村が新たに水掛かりに加わり、増築工事が完成しました。その後、部分的な改修が行われ、昭和56年(1981年)の県営大規模老朽ため池事業によって樋管2ヶ所を改修、堤防はコンクリートブロック張りとし、平成2年(1990年)9月に全工事を終わりました。着工から10年をかけて行われたこの工事を記念して、東堤防に竣工記念碑が建立されています。また、この改修工事の完了とともに南堤防300mに景観整備事業で公園工事をしていますが、平成6年(1994年)に地域おこしの行事として野田池周辺で狐の嫁入り行列を行っており、その記念石碑も立っています。

現在、野田池の受益地はすべて市街化区域となったため、農地が著しく減少しています。しかし、その堤長は1kmを超えており、地域住民の散歩コースとして親しまれています。



堤体



満水時